



# SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN  
佐世保ロータリークラブ

会 長・梅村 良輔 幹 事・田中丸善弥

事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323

例会場・佐世保玉屋8階 (毎週水曜日) TEL 0956-23-8181

http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 24 年 5 月 23 日

第 3,026 回例会

NO 42

《本 日》会員数 75名 (出席免除会員 25名)・出席 48名・免除者欠席 11名・欠席 16名・ビジター 0名 ・出席率 64.00%

《前々回》会員数 75名 (出席免除会員 25名)・出席 53名・免除者欠席 10名・欠席 12名・メイクアップ 12名・修正出席率 100.00%

## 会 長 挨拶

会長 梅村 良輔さん

5月19日(土)は、佐世保東ロータリークラブの創立45周年記念式典と懇親会が開催されました。坂井第6グループガバナー補佐、市内各クラブの会長幹事、姉妹クラブ韓国釜山蓮堤(YEUNJE) RCよりの参加でした。素晴らしい式典で感じましたことは、青少年育成事業に力を注がれて活動されているということでした。佐世保東RCは現在25名の会員で構成されています。45年の歴史を重ねてこられておりますが、メンバーのうち2名のチャーターメンバーがいらっしゃいます。市瀬パストガバナーと樋口パスト会長です。クラブの歴史と流れをご存知の方です。クラブの宝だと感じました。

翌20日(日)には、市内8RC親睦ゴルフ大会が開催されました。我が佐世保RCは団体優勝の栄に輝きました。60歳以上の活躍に負うところ大でした。

次の日21日(月)は、国内外ともに金環日食で大いに盛り上がった日、佐世保ハウステンボスRCの取り計らいで、市内8RC会長幹事プラス事務局員を交えての今年度最後の会が、HTBデハールでの船上会合でした。1年弱を振り返り、反省も含めての楽しい会でした。

“ROTARY CLUBとは”という団扇があり、6項目印刷されていますので、2項目ご紹介いたします。

(1) 地域社会のために活動する：国際ロータリーは、アメリカ・シカゴ郊外に本部を置く組織で、200以上の国や地域に約3万3000のクラブがあり、約120万人の会員がいます。日本には約2300のクラブがあり、約10万人の会員がいます（現在は9万人台）。会員はそれぞれの職業を通して社会に貢献しながら、RCを通して地域の人たちとともに地域社会のために根差した様々な活動をしています。

(2) ロータリー財団国際親善奨学金：ロータリーの事業で最も古く、知られているプログラムで、1947年に創立されました。世界中の会員からの寄付により、毎年千人近い大学生が、他国に留学するためにロータリーの奨学金を受領しています。また、高校生の交換プログラムも行っており、毎年8千人近い高校生が、3ヵ月から1年の外国留学に派遣されています。

(3)~(6) は次の機会に述べます。



## 例 会 記 録

○ロータリーソング「我らの生業」

○卓話者

佐世保工業高等専門学校

校長 中尾 充宏 様 (佐世保北RC)

## 幹事報告

副会長 米倉洋一郎さん

### 1. 国際ロータリー日本事務局経理室

2012年6月のロータリーレート  
1ドル=80円(現行82円)です。

### 2. 第2740地区ガバナー事務所

地区ホームページ更新のお知らせ  
5月16日、17日、21日です。

## 委員会報告

ローターアクト委員会 高瀬 宏滋さん

ローターアクト「RYLA」報告

5月19日・20日に武雄の武雄温泉  
ハイツで、第33回 ROTARY  
YOUTH LEDERSHIP AWARD  
ライラが行われました。時間は13:00からで、  
長富委員長、増本さん、私の3名と、長崎国際  
大学RACから会長のリュウ君、幹事の北村さん、  
メンバーのカク君の3名が出席しました。

今回は、『歴史(とき)を感じ未来を創る』  
がテーマでセミナーが行われました。開講式  
のあとローターアクトのメンバーは武雄三樹  
めぐりに行き、樹齢3000年の大楠を見学に行  
きました。ロータリーのメンバーはその間、  
元RI理事(神戸西RC)の今井鎮雄様の『激変す  
る世界の中でロータリーが歩む道~RYLAの果  
たす役割とは』の講演を聞き、17:00から戻っ  
てきたローターアクトのメンバーと一緒にデジ  
タルハリウッド(株)代表取締役社長兼CEO 古賀  
鉄也様の『ガラパゴス化が進む日本の現状』の  
RYLAセミナー講演を聞きました。

今回ロータリーメンバーは1日目で、RYLAは  
帰りましたが、2日目は宇宙科学館で『プラネ  
タリウム観賞』が行われました。

来月6月2日、3日に第2740地区ローターアクト  
第30回年次大会が唐津で行われます。

次回のローターアクト例会は、5月24日(木)  
18:30より、ホテルオークラJRハウステンボスに  
て行われます。

(2)

## その他の報告

米倉洋一郎さん

### 佐世保市内8RC親睦ゴルフ大会報告

5月20日(日)、佐世保CCにて行われました大会  
において5年ぶりに団体優勝をしました。

個人においても石井正剛会員が2位、松尾  
慶一会員が3位と健闘されました。

## 朗遊会より

朗遊会幹事 松尾 文隆さん

5月20日(日)、佐世保カントリークラブに於いて、  
市内8クラブ親睦ゴルフ大会並びに佐世保ロー  
タリークラブ第5回朗遊会を開催いたしました。

併せて8クラブ対抗戦に於きましては、皆様  
の健闘によりまして見事、団体優勝を勝ち取  
ることができました。

また、共催いたしました朗遊会におきまして  
は、福田金治会員がOUT39・IN41 TOTAL 80  
NET 68で優勝されました。

## 慶 祝

親睦活動委員会 坂本 敏さん

### ○結婚記念月のお祝い

円田 三郎・幸子 さんご夫妻 (3日)  
田中 信孝・さと子さんご夫妻 (7日)  
大久保利博・美香 さんご夫妻 (9日)  
松尾 弘司・喜美子さんご夫妻 (10日)  
飯田 満治・節子 さんご夫妻 (10日)  
副島 正義・三重子さんご夫妻 (14日)  
古原 進・洋子 さんご夫妻 (18日)  
木村 公康・智里 さんご夫妻 (22日)  
川富 正弘・玲子 さんご夫妻 (30日)



## ニコニコボックス

親睦活動委員会 久富 洋一さん

梅村 良輔会長、才木 邦夫さん

中尾校長先生の卓話に期待しニコニコします。

古賀 巖さん

次男と三男が、高専の電気電子工学科の学生としてお世話になりました。

次男は卒業して防衛省に就職しましたが、三男は現在4年生で、図書委員や学生会に属して、大変お世話になっている真っ最中です。

また、弊社も高専のすぐ近所でもあり、テクノコンソーシアムの一員としてお世話になっております。中尾校長へ日頃のお礼を含めてニコニコいたします。

円田 三郎さん、副島 正義さん

木村 公康さん、川富 正弘さん

大久保利博さん

結婚記念日のお祝いありがとうございます。

梅村 良輔会長

今年度市内8RC親睦ゴルフコンペにて、4～5年ぶりに優勝の栄を頂戴致しました。壇上に上がった快感ひとしおでした。因みに私は戦力外でした。

米倉洋一郎さん、松尾 慶一さん

才木 邦夫さん、安福鴻之助さん

8ロータリーゴルフ大会にて入賞しましたので。

石井 正剛さん

16,752歩の勝利

5月20日(日)に行われました市内8RC親睦ゴルフ大会において、60歳以上70歳未満の部 クラス優勝、全体 準優勝を頂きました。16,752歩、その日のゴルフ場での歩数です。

当日はいつもと違い右へ左へ寄り道することがあまり無かったので、こんな思いもよらぬ結果になったのでしょうか？ いや、そうではないようです。ダブルペリアとやらのお陰でこんな結果になったのです。要は、運が良かっただけなのです。運も実力のうちとか申しますが… それもあてはまりそうにありません。天は、時に実力以上の幸運を与え、人が

戸惑う姿を見てはしゃいでいるかのようです。今後の為に、幸運は取っておこうと思っておりましたのに運は湧き水が涸れるがごとく尽きてしまうのでしょうか。そうだとしたら、パートナーとしてご一緒させて頂いた梅村会長、円田浩司次年度幹事、平尾次年度副幹事に心ばかりのお礼として「幸運のお裾分け」と思っておりましたがそれも叶わない様です。代わりに、今後2年間の「不運のお裾分け」なら出来そうですが、お受け取り頂けますか？

福田 金治さん、安部 直樹さん

朗遊会で1位、2位でしたので。

◇

ニコニコボックス 本日合計 17,000円

累計 857,000円

## 卓 話

『佐世保高専の目ざすもの』

佐世保工業高等専門学校

校長 中尾 充宏 様



昭和36年、高等専門学校が新しい学校教育制度として創設され、佐世保工業高等専門学校が昭和37年4月、九州でただ一つの「第1期校」(全国では12校)として開校してから今年で満50年を迎えました。

顧みればこの50年の間に、世の中は一言ではとても言い表せないほど大きな変化を遂げてまいりました。高専は、高校でも短大でもそして大学でもなく、ましてや専修学校でもない学校制度として発足し、教育理念をはじめとするその社会的意義について、創立当初からあまたの厳しい批判と評価にさらされてきました。実際、高専教育の歴史は、そういった課題を克服しようと努力する教職員をはじめ、関係者による絶え間ない試練の歴史といえるかもしれません。卒業生達も、特に初期の頃は、制度の伝統と実績のなきが故に社会において不本意な処遇に苦しみ、またそれを乗り越えるべく果敢に、そしてひたむきに精進努力を続けてきたのであります。

高専制度への批判のまなざしはいろんな視点から向けられましたが、創設後50年という歳月を経た今、まさに時代を超えた本質的で普遍的ともいえる意義が明らかになりつつあります。それは、15歳という未だ思春期から大人になるまでの5年間、ものづくりを基盤とした実践的教育を受けることで、他の教育制度では決して培うことのできない固有の技術者マインドが涵養される、という特色であります。実はこの観点から見ると、創立当初には予想できなかった、現代社会における高専の意外な役割が見えてくるのです。それは我が国における理系高等教育の根幹までを左右するほど大きな特質でもあります。

また、近年のグローバル社会という風潮の中であって、国際的評価は大学など高等教育の上でも不可欠の課題です。この点に関しても、高専に対する海外からの高い注目度が、次第に顕在化しつつあります。たとえば、2006年に、我が国の高等教育を視察したOECD（経済協力開発機構）の調査団は、日本の高等教育の中で、特に高専制度を世界的にユニークな教育システムとして大いに賞賛しています。最近、そのレポートに啓発された米国の有力新聞であるワシントンポストの記者が、数日間にわたって高専機構取材に訪れました。昨年10月に掲載されたその論説記事では、現在の日米両国における後期中等教育から前期高等教育まで（高校から大学学士課程）を、「若者達にとって、実社会で働くために必要な能力を身につける教育システムになっていない」と指摘し、それを同紙では“skills gap”と呼んでいます。そして、高大一貫のものづくり教育を重視した高専教育こそが、そのgapを埋めるための解決策を与えるであろう、と結論づけています。どうやら、「50年にわたる壮大なる社会実験によって、高専制度という教育システムの真価が実証される」そのときが来たように感じています。

## 市内8RC 親睦ゴルフ大会懇親会

平成24年5月20日(日) ホテル万松楼にて、佐世保市内8RC 親睦ゴルフ大会懇親会が行われました。

競技の結果は、佐世保ロータリークラブが見事、団体優勝を果たしました。



### \* 次回例会予告 \*

卓話予定者

佐世保市企業立地推進局長

田川 伸一様

「佐世保市における企業誘致の取組みについて」

(今週の担当：松本 由昭)

(カメラ担当：有蘭 良太)

## クラブ会報委員会

委員長 中村 徳裕  
副委員長 有蘭 良太

委員 松本 由昭・大野 高広  
久富 洋一・佐藤 丈治